

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report
AICHI Infectious Diseases Monthly Report

2023年28週（7月2週 7/10～7/16）
2023年6月報

愛知県感染症情報センター（愛知県衛生研究所内）

<https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansentop.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619（企画情報部）

今週の内容

◇トピックス

インフルエンザ、インフルエンザ様疾患発生報告、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、ダニ媒介感染症の予防啓発、夏季休暇の海外渡航者に対する感染症予防啓発

◇病原体検出情報

◇定点医療機関コメント

インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症等

◇全数把握感染症発生状況（ ）内は件数。

結核(16)、腸管出血性大腸菌感染症(2)、レジオネラ症(4)、アメーバ赤痢(1)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(2)、急性脳炎(2)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(3)、後天性免疫不全症候群(3)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(2)、侵襲性肺炎球菌感染症(1)、梅毒(24)、破傷風(1)、百日咳(1)

◇2023年6月報

◇定点把握感染症報告数（保健所別、年齢別）

○「グラフ総覧」は <https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

◆ インフルエンザ

28週の定点当たり報告数は1.59、27週309人→28週311人(1.01倍)です。2022/2023シーズンに病原体定点等から寄せられた検体よりインフルエンザウイルスA型(AH1pdm09 6件、AH3166件)及びB型(ビクトリア系統 4件)が検出されています。

【参考ページ】愛知県インフルエンザ情報ポータルサイト（愛知県）

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kansen-taisaku/influ.html>

◆ ヘルパンギーナ（図1）【7月6日警報発令】

28週の定点当たりの報告数は6.04、27週1,210人→28週1,100人(0.91倍)です。

【参考ページ】ヘルパンギーナ警報を発令します！！（7月6日発表）

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/herpan0706.html>

ヘルパンギーナ

<https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/herpangina.html>

◆ RSウイルス感染症（図2）

28週の定点当たり報告数は2.59、27週521人→28週472人(0.91倍)です。

【参考ページ】RSウイルス感染症

<https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/rs.html>

「RSウイルス感染症」に注意しましょう（厚生労働省）

<https://www.mhlw.go.jp/content/001121510.pdf>

◆ 咽頭結膜熱

28週の定点当たり報告数は0.46、27週52人→28週83人(1.60倍)です。

◆ ダニ媒介感染症の予防啓発

【参考ページ】ダニ媒介感染症（厚生労働省）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

◆ 夏季休暇の海外渡航者に対する感染症予防啓発

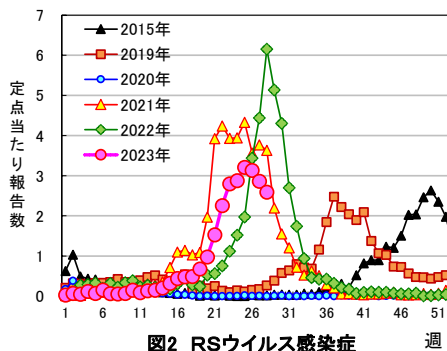
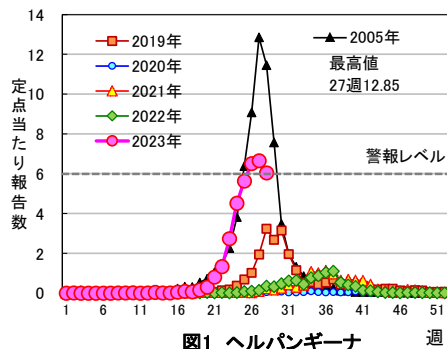
【参考ページ】海外へ渡航される皆様へ（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou1_8/index_00003.html

厚生労働省検疫所（FORTH）<https://www.forth.go.jp/index.html>

◆ インフルエンザ様疾患発生報告

決定日	管轄保健所
7月11日	瀬戸
7月12日	瀬戸、西尾
7月13日	瀬戸



病原体検出情報 —2023年疾患別ウイルス検出速報— (2023年7月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	インフルエンザ	麻しん・風しん
								2022/2023 シーズン	
患者数	53(5)	4(3)	24(9)	9(4)	-	9(4)	4	201(12)	13(1)
Flu AH1pdm09	-	-	-	-	-	-	-	6	-
Flu AH3	-	-	-	-	-	-	-	166(3)	-
Flu B(Vic)	-	-	-	-	-	-	-	4	-
MeV	-	-	-	-	-	-	-	-	2(1)
HPIV-4	-	-	-	-	-	-	-	1	-
NV-GII	19(3)	-	-	-	-	-	-	-	-
SV	9(1)	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	1(1)	-	-	2(1)	-	-	-	-	-
Ad-2	1(1)	-	-	3(1)	-	-	-	-	-
Ad-41	1	-	-	-	-	-	-	-	-
検査中	14	4	24	4	-	7	1	14	5
陰性	11(3)	-	-	-	-	2	3	10	6(2)

()内の数は前回の情報からの増加分を示す(再掲)

インフルエンザは2022/2023シーズン(22年9月~)の結果

麻しん・風しんの数は病原体定点医療機関外からの患者数及びウイルス検出数を含む

略: ウイルス名

Ad: アデノウイルス、Flu AH1pdm09: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、Flu AH3: A香港型インフルエンザウイルス、Flu B(Vic): B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)、HPIV: ヒトパラインフルエンザウイルス、MeV: 麻しんウイルス、NV: ノロウイルス、SV: サポウイルス

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

- covid19 13名
RS ウイルス、溶連菌感染症、ヘルパンギーナ
流行続いています
インフルA 1名のみ
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- COVID-19 8例
RSV 7例
Adeno 3例
ヘルパンギーナ 13例
インフル 0例
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- COVID-19 23名
A型インフルエンザ 24名
RS 16名
ヘルパンギーナ 14名
【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】
- COVID-19 44例 連日多数あり。
【犬山市 くわばらクリニック】
- RS 感染症 1歳1人（入院）
インフルエンザA 1人
コロナ陽性者 13人
【清須市 丹羽医院】
- COV-19 は5名。
インフルエンザA型は2名。
【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】

尾張東部地区

- ヘルパンギーナ流行続いています。
COVID-19 も増加傾向。小学校での流行あり。
その他、アデノウイルス感染症も目立ちました。
RSV 様症状での受診は減少傾向です。
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- ヘルパンギーナ 多数
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- COVID 感染症 12名
溶レン菌 1名
感染性胃腸炎 3名
ヘルパンギーナ 2名
【南知多町 医療法人大岩医院】
- ヒトメタニューモ 3歳男女 各1名
【武豊町 なかしまキッズクリニック】
- 該当者なし
【常滑市 常滑市民病院】
- 感染性胃腸炎 1名
ヘルパンギーナ 3名
RS ウイルス感染症 1名
新型コロナ 2名
【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

- FluA(+) 6歳男
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
- インフルA 1名
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
- インフルエンザB 1例
Covid19 17例
ヘルパンギーナが増加。
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- インフルエンザ感染症は、全てA型です。
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
- 7歳男 カンピロバクター
【岡崎市 にいのみ小児科】
- インフルエンザはA型
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
- インフルエンザA型 4名
【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】
- インフルエンザB 1名
【岡崎市 栗屋医院】
- Covid-19 1名
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】
- インフルエンザ すべてA
【岡崎市 ともファミリークリニック】
- インフルA型 3名、インフルB型 2名
【岡崎市 いわせこどもクリニック】
- RVS 感染症が目立ちます。
【碧南市 永井小児クリニック】

東三河地区

- ヘルパンギーナ 流行中
コロナ感染症も時々います。
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
- ヒトメタニューモウイルス感染症
4歳男1名、4歳女1名
【新城市 新城市民病院】
- アデノウイルス（咽頭結膜熱以外）2名
【蒲郡市 畑川クリニック】
[6月報 STD 定点コメント]
- マイコプラズマ尿道炎 3名
【豊橋市 古島クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2023年7月19日現在

一類～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki_jyun230526.pdf

● 結核（二類感染症）

報告保健所	2023年28週報告数			2023年総計(1～28週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市	8	1	4	215	38	82
豊田市	1	1		17	6	4
豊橋市				28	4	11
岡崎市				14	7	2
一宮市	1			31	12	9
瀬戸	1		1	44	8	14
半田				5	2	1
春日井				22	3	9
豊川				16	3	6
津島	1			27	4	7
西尾	1			14	2	5
江南	1			22	5	3
新城				4	1	2
知多				22	1	8
清須				11		3
衣浦東部	2		1	23	2	5
合計	16	2	6	515	98	171

● 腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	66歳	男	7/4	7/7	7/11	O157、VT1(+) VT2(+)
2	半田	73歳	女	7/11	7/13	7/13	O157、VT1(+) VT2(+)

四類・五類感染症（全数把握）（感染経路、感染地域は推定も含む）						
● レジオネラ症（四類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域	
1	豊田市	76歳	男	肺炎型	国内	
2	豊田市	56歳	男	肺炎型	国内	
3	岡崎市	68歳	男	肺炎型	国内	
4	瀬戸	57歳	男	肺炎型	国内	
● アメーバ赤痢（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	春日井	54歳	男	腸管アメーバ症	不明	不明
● カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	感染経路	感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	江南	82歳	男	以前からの保菌	国内	無
2	衣浦東部	67歳	女	以前からの保菌	国内	無
● 急性脳炎（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域	
1	津島	6歳	男	病原体不明	国内	
2	江南	1歳	女	インフルエンザウイルスA	国内	
● 劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	感染地域		
1	豊橋市	0歳	女	国内		
2	清須	65歳	男	国内		
3	衣浦東部	0歳	男	国内		
● 後天性免疫不全症候群（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	33歳	男	AIDS	性的接触	不明
2	名古屋市	30歳	男	AIDS	性的接触	国内
3	名古屋市	39歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
● 侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域	
1	名古屋市	5歳	男	有（追加接種有）	国内	
2	岡崎市	2歳	男	有（追加接種有）	国内	
● 侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域	
1	衣浦東部	40歳	女	無	国内	

● 梅毒（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	49歳	男	早期顕症	性的接触	国内
2	名古屋市	25歳	女	無症候	性的接触	国内
3	名古屋市	24歳	男	早期顕症	性的接触	国内
4	名古屋市	30歳	男	早期顕症	性的接触	国内
5	名古屋市	49歳	女	早期顕症	性的接触	国内
6	名古屋市	48歳	男	早期顕症	性的接触	フィリピン
7	名古屋市	29歳	男	早期顕症	性的接触	不明
8	名古屋市	19歳	男	早期顕症	性的接触	国内
9	名古屋市	24歳	女	早期顕症	性的接触	国内
10	名古屋市	23歳	女	早期顕症	性的接触	国内
11	名古屋市	54歳	女	早期顕症	性的接触	国内
12	名古屋市	51歳	男	早期顕症	性的接触	国内
13	豊田市	53歳	男	早期顕症	性的接触	国内
14	豊田市	21歳	女	無症候	性的接触	国内
15	豊田市	21歳	男	無症候	性的接触	国内
16	一宮市	49歳	男	早期顕症	性的接触	国内
17	瀬戸	23歳	男	早期顕症	性的接触	国内
18	瀬戸	80歳	男	早期顕症	性的接触	国内
19	瀬戸	52歳	男	早期顕症	性的接触	国内
20	春日井	55歳	男	早期顕症	性的接触	国内
21	津島	36歳	男	無症候	性的接触	国内
22	江南	40歳	男	早期顕症	性的接触	国内
23	清須	44歳	男	無症候	静注薬物使用	国内
24	衣浦東部	24歳	女	無症候	不明	不明
● 破傷風（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域	
1	豊橋市	86歳	男	不明	国内	
● 百日咳（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染経路・感染地域等	
1	名古屋市	28歳	女	有（3回有）	流行有（職場）	

2023年6月報 (2023年7月14日現在、診断週(新型コロナウイルス感染症は報道発表日)に基づく集計)

6月の一～五類、新型インフルエンザ等感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2022～2023年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数		2023年6月			2023年	2022年
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7)	結核	51 (13)	34 (9)	85 (22)	475 (158)	1,080 (345)
新型インフルエンザ等 (4)*	新型コロナウイルス感染症 *	-	-	-	276,991	1,737,899
三類 (5)	腸管出血性大腸菌感染症	11 (1)	7 (1)	18 (2)	35 (8)	154 (29)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (0)
四類 (44)	E型肝炎	1	2	3	5	2
	A型肝炎	0	0	0	1	1
	エムボックス **	0	0	0	2	0
	重症熱性血小板減少症候群	1	0	1	1	1
	チクングニア熱	0	0	0	0	2
	つつが虫病	0	0	0	2	17
	デング熱	0	1	1	4	9
	日本紅斑熱	1	0	1	2	5
	マラリア	0	0	0	2	3
	類鼻疽	0	0	0	0	2
	レジオネラ症	18	5	23	51	163
	レプトスピラ症	0	0	0	1	1
五類 (24)	アメーバ赤痢	2	0	2	19	31
	ウイルス性肝炎	0	1	1	7	6
	内訳 B型	0	1	1	4	5
	内訳 その他	0	0	0	3	1
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 **	8	4	12	77	161
	急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く。)	0	0	0	0	2
	急性脳炎	0	0	0	16	24
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	2	13
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	2	6	36	53
	後天性免疫不全症候群	0	13	13	51	70
	内訳 無症候性キャリア	0	9	9	34	45
	内訳 AIDS	0	4	4	17	22
	内訳 その他	0	0	0	0	3
	ジアルジア症	0	0	0	0	2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5	3	8	23	22
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	2	2	71	100
	水痘(入院例に限る。)	2	0	2	14	23
	梅毒	32	54	86	451	768
	内訳 無症候	9	9	18	114	185
	内訳 早期顕症	22	43	65	327	571
	内訳 晩期顕症	1	2	3	8	11
	内訳 先天梅毒	0	0	0	2	1
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	5	9
	破傷風	2	0	2	2	6
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	2	0
	百日咳	5	1	6	19	10
	麻しん	2	0	2	2	0
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	3	0
	総 計	145	129	274	278,374	1,740,643

* 2023年5月8日に「新型コロナウイルス感染症」の位置付けがCOVID-19として5類感染症の定点把握に変更されたため、上記表には2023年5月7日分までを計上しています。

** 2023年5月26日から以下の2疾病について、届出基準及び届出様式が改正されました。

(改正前)サル痘→(改正後)エムボックス

(改正前)カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症→(改正後)カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

疾病名		2023年6月			2023年 累計		2022年 総計		
		愛知県 <small><名古屋市除く></small>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体		
					合計	合計	合計	合計	
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	35	98	133	718	1,144	1,385	2,148
		女	54	35	89	426		763	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	16	34	50	228	397	375	728
		女	15	10	25	169		353	
	尖圭コンジローマ	男	7	23	30	157	219	344	467
		女	9	4	13	62		123	
	淋菌感染症	男	14	44	58	326	390	827	953
		女	5	2	7	64		126	
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		65	1	66	362		772	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		1	0	1	13		27	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	0		1	

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2023年6月			2023年 累計		2022年 総計	
	愛知県 <small><名古屋市除く></small>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体	
鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9)の鳥類	0	0	0	0		3	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2023年5月8日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症
三類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症
四類感染症 (44疾病)	人から人への感染はほとんどないが、動物、飲食物等の物件を介して感染するため、動物や物件の消毒、廃棄などの措置が必要となる感染症
五類感染症 (49疾病)	国が感染症発生動向調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を一般国民や医療関係者に提供・公開していくことによって、発生・拡大を防止すべき感染症
新型インフルエンザ等感染症 (4疾病)	<p>【新型インフルエンザ又は新型コロナウイルス感染症】 新たに人から人に伝染する能力を有することとなったウイルスを病原体とする感染症であって、一般に国民が当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、当該感染症の全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるものをいう。</p> <p>【再興型インフルエンザ又は再興型新型コロナウイルス感染症】 かつて世界的規模で流行した感染症であってその後流行することなく長期間が経過しているものとして厚生労働大臣が定めるものが再興したものであって、一般に現在の国民の大部分が当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、当該感染症の全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるものをいう。</p>
指定感染症	既知の感染症の中で、前記一～三類に分類されない感染症において一～三類に準じた対応の必要が生じた感染症(政令で指定、一年限定)
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既知の感染症と症状等が明らかに異なり、その伝染力及び罹患した場合の重篤度から判断した危険性が極めて高い感染症

* 2023年5月8日に「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)」の位置付けが5類感染症の定点把握に変更されました。

グラフ総覧

2023年28週(7月10日～7月16日)

愛知県(名古屋市データ含む)の1999年13週から2023年28週までの定点(インフルエンザ/COVID-19・小児科・眼科・基幹)当たり報告数のうち、本年を含む過去5年間及び特徴的に推移した年についてグラフ化したものです。

*各疾病のグラフを個別に利用される場合は、衛生研究所ウェブサイトからExcelファイルをダウンロードしてください。

<https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.zip> *ExcelファイルはZIP圧縮してありますので適当な場所に解凍後ご利用ください。

